

一〇

頻繁
隔離
浸透
喪失
緊密

一一

一 イ

二 ウ

三 エ

四

C イ

D エ

E ア

F ウ

五 エ

六 ウ

七 ア

八 現場で直接体験しなかったにしても、この大災害が人間のスケールを超えたおそろべき自然

の力の象徴として、当時のヨーロッパ文化人たちに受止められたと考えられるから。

九 才

一〇

利潤

陰影

愚問

隙間

道端

一一

一 ウ

二 エ

三 エ

四 才

五 「何が承認されたのか」という観点については考察したが、それは「承認欲望」の本質の一

部にすぎないから。

六 現象学の思考法

七

b ウ

c イ

d エ

八 才
九

e 存在の

f 行為の

g 行為の

h 存在の

十 集団的承認が得られない場合は親和的承認がそれを補い、また「存在の承認」が得られない場合は「行為の承認」が欠落した穴を埋めるなど、異なる承認は相互補完的關係にあると
いうこと。



一

ウ

イ

ア

二 ウ

ア

三 ア

イ

四 イ

五 ウ

六 ②

七

行
イ

種類
ウ

活用形
イ

八 せめて生まれ変わった後だけでもなんとか

九 エ